

【目次】

- 夏休み明け前後の教育相談
- 夏休み明けの事故防止には「意識」と「知識」の向上を

---

□夏休み明け前後の教育相談

---

夏休みが終わり、友達との再会やこれからの行事を楽しみにしている一方で、学習や友人関係などの課題を抱え、不安で憂鬱な思いの児童生徒がいることを意識しましょう。

●子ども一人で悩ませない体制を

夏休み前から見守りを続けてきた児童生徒に対しては、休み明け前に再度、電話連絡や家庭訪問等を行い、多くの教職員が支えていることを伝えましょう。学期始めには、校内で統一して個人面談を行うことも有効です。気になる児童生徒については校内で情報共有し、家庭と連携しながらSCやSSWへの相談につなげましょう。児童生徒に校内の相談体制や24時間子供SOSダイヤルなど外部の相談先を改めて伝えることで、苦しみを抱え込まず、大人に向かって自らSOSを発信して相談できる力をつけさせてください。

●第2の学級開き

夏休み明け初日は、いわば第2の学級開きの日です。互いのよさや頑張りを認め合う雰囲気大切にしながら、2学期に予定される様々な行事を見通して児童生徒それぞれの「めあて」を考えさせたり学級としての目標やルールを再確認したりする中で、2学期の学校生活への不安を取り除き期待を抱けるように工夫しましょう。

●SL(スクールロイヤー)の法的相談

いじめをはじめとする児童生徒の問題行動や学校事故への対応、さらには保護者・外部への説明等、学校が対応に苦慮している問題の解決に向けて、弁護士による法的な観点からの助言を、面談や電話によって受けることができます。問題を学校だけで抱え込むことなく、積極的にスクールロイヤー制度を活用してください。

※「平成30年度大分県スクールロイヤー活用事業を実施します」(学校安全・安心支援課)を参考にしてください。

URL⇒ <http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/slkatsuyou.html>

---

□夏休み明けの事故防止には「意識」と「知識」の向上を

---

●まだまだ熱中症の危険は続きます

熱中症予防には「規則正しい生活」と学校や児童生徒自身による「備え」、教職員の適切な「判断」が重要です。具体的には、①栄養バランスの良い食事を3食欠かさず摂取して十分な睡眠をとる②活動前の適度な水分補給と脱水状態に備えた(※)経口補水液の準備③行事等の時間帯・内容変更(特に高温期では延期や中止を判断するなど思い切った見直しも重要)です。

※経口補水液は市販品を飲むことをお勧めしますが、1ℓの水に1～3gの食塩と40gの砂糖を加えることで手作りすることも知識として備えておきましょう。

●高所作業に気をつけよう

2学期に予定している大掃除や文化祭等での高所作業では転落事故に注意しましょう。特に、①転落が想定される箇所には注意喚起の表示や立ち入りを禁止する②大掃除は取りかかる前に安全対策を全職員、児童生徒が確認する。特に2階以上の外窓の掃除はしない③文化祭等において高所での装飾作業を児童生徒にさせない等の対策が重要です。

---

※過去のバックナンバーは以下のURLから御覧いただけます。

→ <http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/mailmaga.html>

---

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課

URL：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>